雇用延長できます！

2011年3月も1/3以上の非正規雇用職員が雇用延長できました。

「引き続き働きたい」と思っている非正規雇用職員の皆さん、
「続けて働いてもらいたい」と思っている教員の皆さん、
部局から事務局に積極的に協議書を出しましょう。

- 北海道大学で働く非正規雇用職員は、3年以上働くことができます。2011年4月には3月で期間満了を迎えた**389名の内36%にあたる141名**の非正規雇用職員（事務補佐員・技術補佐員・事務補助員・技術補助員、以下同様）が3年を越えて雇用延長されました（裏面参照）。これは、**2010年4月の雇用延長者数105と比べても34%の増加**です。このことは、研究・教育の現場で継続的に仕事をできる人が必要されていることを示しています。「今の仕事を続けたい」という本人の願い、「大学で経験を積んだ人に引き続き仕事をしてもらいたい」という教員の要望は至極当然のものです。
- 2011年2月におこなわれた組合との交渉の場で大学側は、「雇用延長を認めるケースとしては、年度途中で3年期限を迎える人などが考えられる」としました。実際、2010年末に期限を迎えた非正規雇用職員は2011年3月まで雇用延長されました。そして、その後さらに1年の延長が認められています。
- わたしたち組合は、この問題の根底にある就業規則の3年期限の撤廃を求めて取り組んでいます。あなたも組合に加入し、働きがいのある大学を目指しましょう。

北海道大学教職員組合　2011年5月

札幌キャンパスにおいて2011年3月に雇用延長された非正規雇用職員数

2011年3月末に期間満了となった非正規雇用職員＼職種	事務		技術		合計
	補佐員	補助員	補佐員	補助員	
離職した人数[A]	28	120	19	81	248
離職から10日以内に発行された離職証明書数（Aの内数）	24	89	16	29	158
雇用延長された人数[B]	21	55	19	46	141
雇用延長率[B/(A+B)]	43%	31%	50%	36%	36%

（大学より北大職組に提供された情報を基に作成）